

平成 18 年 4 月 19 日

第 39 回原産年次大会の開催について

社団法人日本原子力産業協会は「第 39 回原産年次大会」を下記の日程で開催します。

会 期：平成 18 年 4 月 26 日（水）～ 28 日（金）（3 日間）

会 場：パシフィコ横浜

基調テーマ：「わが国の原子力産業の基盤強化と再活性化
——未来のために、今なすべきこと」

構成と内容：別添プログラムをご参照ください。
(大会当日まで変更が生じる場合もあります)

原産年次大会とは

原産年次大会は、日本原子力産業協会が主要事業の一つとして昭和 43 年（1968 年）以来開催している国際会議で、毎年国内外から約 1,000 名の参加を得ております。本大会は、エネルギー・原子力の平和利用上の重要な問題について、国内外の専門家を中心とする意見の発表、重要課題とその解決策を見出すための討論を行うとともに、原子力研究開発利用の進め方について国民の理解促進に資することを目的としております。

また平成 6 年以来、本大会をより開かれたものとするため、原子力関係者だけでなく、広く一般市民の方々にも積極的に参加を呼びかけています。

第 39 回大会のねらい

最近の原子力をめぐる主な動きとして、わが国では、原子力政策大綱が策定され、原子力開発利用を推進していくための明確な針路が示されました。今後は、関係各セクターにおいて、原子力活動を着実に実施していくことが重要となっています。一方、海外の動きとしては、欧米諸国における原子力開発への回帰があげられます。地球温暖化問題への対応や、アジア地域を中心とするエネルギー消費の拡大や原油価格の高騰などを背景として今後激化が見込まれる世界的な資源獲得競争の問題を解決するには、原子力発電を選択することが現実的であるとの認識が国際的に広がってきています。

このような認識のもと、第 39 回大会では、原子力産業の再活性化と基盤強化のための諸方策について深く議論を交わすとともに、海外のダイナミックな原子力の動きについての最新情報を提供します。

募集の種類・参加費

- ①**有料参加**：一般企業・原子力関係企業等の役職員等…46,000 円
- ②**一般市民**：一般市民・教職員・学生・主婦等に限定…無 料

社団法人日本原子力産業協会について

（社）日本原子力産業協会（略称：原産協会、会長：西澤潤一・首都大学東京学長・元東北大学総長）は、平成 18 年 4 月 1 日、日本原子力産業会議を改組改革し発足した。旧原産は昭和 31 年 3 月に設立され日本の原子力開発の発展の歴史と共に歩んできたが、今回の改組改革は今日の世界的な原子力の重要性が再認識されつつある状況を踏まえ、関係機関との一層の協力のもと「日本の原子力産業の基盤強化と再活性化」に向けた取り組みを強化することを目指したものである。

原産協会は、その行動様式を「自ら戦略的に行動する団体」として、「政策提言」「規制対応」「情報発信」を事業の三本柱にすえ、国に対する政策提言や社会との対話による理解促進等に活動の重点的に行うこととしている。

<添付資料>

- ・ 第 39 回原産年次大会プログラム
- ・ 第 39 回原産年次大会準備会議名簿
- ・ 第 39 回原産年次大会の取材について
- ・ 第 39 回原産年次大会事前登録申込書
- ・ 会場案内
- ・ 予稿集

<本資料配布先>（順不同）

横浜市政記者会

文部科学記者会、科学記者会、経済産業記者会、ペンクラブ、エネルギー記者会

<本件お問い合わせ先>

（社）日本原子力産業協会 政策本部 加藤

〒 105-8605 東京都港区新橋 2 - 1 - 3 新橋富士ビル 5 F

TEL 03 (6812) 7101

FAX 03 (6812) 7110

e-mail 39th-annual@jaif.or.jp

以 上

原産協会プレスリリース

発行：（社）日本原子力産業協会 情報本部（担当：喜多、木室）

TEL 03-6812-7103

FAX 03-6812-7110

<http://www.jaif.or.jp/>

第39回原産年次大会プログラム(案)

基調テーマ：わが国の原子力産業の基盤強化と再活性化
 ——未来のために、今なすべきこと

開催日：平成18年4月26日(水)～28日(金)

場所：パシフィコ横浜 3F大会議室

4月26日(水)	4月27日(木)	4月28日(金)
	セッション1 (9:30～12:30) 踊り場に立つ原子力産業 —新たな飛躍への挑戦 (講演とパネル討論)	セッション3 (9:30～12:30) 世界最高水準の安全確保と 更なる検査制度の改善の方向性 (パネル討論)
受付開始 (13:30～)	昼 休 み (12:30～14:15)	昼 休 み (12:30～14:00)
開会セッション (14:00～15:00)	セッション2 (14:15～17:15) ダイナミズムを見せる 世界の原子力、 そこから見た日本への期待 (講演と意見交換)	セッション4 (14:00～17:00) 日本に原子カルネッサンスの 波を引き起こす (講演と意見交換)
特別講演 (15:15～18:00)		
レセプション (18:15～19:30) (インターコンチネンタルH・ボールルーム)	学生セッション (12:45～14:00) 原子力産業への期待、 若い世代から 主催：日本原子力学会 学生連絡会 (パシフィコ横浜3Fラウンジ)	

※ プログラムは変更となる
 可能性がございます。
 予めご了承ください。

第39回原産年次大会準備会議メンバー

平成18年3月31日

(敬称略・順不同)

石川 迪夫	日本原子力技術協会 理事長
伊藤 隆彦	電気事業連合会 原子力開発対策委員会 委員長
齊藤 莊蔵	(社)日本電機工業会 原子力政策委員会 委員長
千野 境子	産経新聞社 論説委員長
十市 勉	(財)日本エネルギー経済研究所 常務理事
殿塚 猷一	(独)日本原子力研究開発機構 理事長

(オブザーバー)

戸谷 一夫	内閣府 政策統括官付参事官
中原 徹	文部科学省 研究開発局 原子力計画課長
柳瀬 唯夫	経済産業省 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 原子力政策課長
小溝 泰義	外務省 総合外交政策局 軍縮不拡散・科学部 国際原子力協力室長

(原産)

西澤 潤一	(社)日本原子力産業会議 会長
宅間 正夫	” 副会長
石塚 昶雄	” 常務理事・事務局長
鈴木 元一	” 理事・事務局次長

以 上

第39回原産年次大会の取材について

1. 事前登録

事前登録を受け付けておりますので、添付の申込書に必要事項を記入のうえ、当協会・政策本部宛にFAXにてご連絡ください。大会当日、会場受付にて事前登録した旨を申し出ていただければ、プレス用のネームカードと大会関係資料をお渡しいたします。

(できる限り事前登録をお願いいたします。)

2. 当日登録

会場受付にて記帳あるいは名刺を提出し、登録をしてください。

※プレスルームの開設

本大会開催中、「プレスルーム」を開設しますのでご利用ください。

以 上

プレス

(社)日本原子力産業協会・政策本部 行
(FAX: 03-6812-7110)

第39回原産年次大会事前登録申込書

申込締切日：平成18年4月21日

御芳名	(ふりがな)	登録No.	
		TEL	
		FAX	
機関名			
役職名			
御住所	〒		
e-mail			
所属記者クラブ			

※ 太枠内にご記入の上、FAXまたは郵送でご送付下さい。

受付	月	日
参加証	月	日

< 会場案内 >

パシフィコ横浜 3F 大会議室

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1 TEL045-221-2121

(アクセス) JR横浜駅よりタクシー約10分、みなとみらい線みなとみらい駅より徒歩5分

